



平成20年度

第3回

# 「城里町ふれあいの船」事業 in 北海道



午後3時 常北公民館で出発式  
出発式では、A班は石塚小学校の浅野真夕子さんが、B班では七会東小学校の小林加奈さんが参加者代表あいさつを行い、元気に城里町を出発しました。

## 第1日目

今年、合計222人が船の旅に参加しました。  
町内の小学校6年生を対象に、第3回「城里町ふれあいの船」事業を4泊5日にわたって実施しました。この事業は、北海道の雄大な自然の中での活動や船での集団生活とおして、通常の学校生活では得られない、自然とのふれあいや互いの心のふれあいを体験し、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的としています。

## B班

7月30日(水)～8月3日(日)  
【学校別班割り】  
坏小学校、岩船小学校、北方小学校、沢山小学校、七会東小学校、七会西小学校

## A班

7月21日(月)～25日(金)  
【学校別班割り】  
石塚小学校、小松小学校、青山小学校、古内小学校



午後6時30分 大洗港出港  
デッキから見送りにきた人たちに手をふり、いよいよ出港です。



午後5時 大洗港着・乗船  
荷物の整理をしたあと、船中で最初の食事をとりました。みんなとてもおいしそうに食べていました。



午前9時30分 はがき作成・ゲーム  
デッキ・ブリッジを見学し、その後自宅にはがきを書きました。はがきは、北海道で郵便ポストに投函するためのものです。船内では高校生(リーダー)とのレクリエーションも楽しみました。



第2日目  
午前6時 起床  
レストランにて朝食  
午前9時 デッキ・ブリッジ見学  
船長さんの説明により、操舵室を見学しました。



午後6時00分 洞爺湖パークホテル天翔着  
夕食ではご飯の歌を歌うなど、にぎやかな食事となりました。その後、夕べの集いは自分達の学校を互いに紹介し合いました。大きな風呂で入浴した後、各部屋から洞爺湖湖上花火を楽しみました。



午後1時30分 苫小牧港到着  
下船後、バスに乗りして一路洞爺湖へ。  
午後3時30分 洞爺湖到着  
洞爺湖火山科学館を見学し、ボランティアガイドの案内で西山火口を散策しました。雨模様の中、噴煙が立ち込める自然の驚異を肌で体験しました。

### 第3日目

午前6時 起床

レストランにてバイキング朝食

午前10時00分 ニセコ尻別川  
ラフティング(川くだり)

本年より新たな研修としたラフティングを、A班では雨上がりの中21隻のボートに別れ、B班では晴天の中18隻のボートで、仲間たちと力を合わせ、水バトルで他の船を攻めながらボートをこぎ、自然を満喫しながら川くだりを楽しめました。



午後3時30分 札幌市内散策

ボランティアガイドの案内で、旧道庁や札幌時計台等を見学しました。また、お土産等の買い物も楽しめました。



午後5時30分着 札幌グランドホテルにて夕食

目の前で行われるシェフの調理を見ながら、今日の疲れを忘れさせるバイキングの夕食を堪能しました。



午後7時15分着 札幌エクセルホテル東急

大きなホテルに泊まることも初めてという子が多く、感激した様子でした。

### 第4日目

午前6時00分 起床

バイキング会場での朝食  
午前10時30分 旭山動物園到着

みんなが楽しみにしていた旭山動物園では、リーダーを中心とした班別行動で見学しました。本年オープンしたオオカミの森などで、動物の生態について学習しました。



午後4時30分 苫小牧港着・乗船

いよいよ帰りの船です。荷物の整理をしたあと、出港前に食事をとりました。

午後6時45分 苫小牧港出港  
北海道との別れを惜しみつ

### 第5日目

午前6時 起床

レストランにて朝食  
午前9時30分 感想文作成

船内で、ふれあいの船体験活動について感想文を書きました。

午前10時45分 解散式

船内において、解散式を行い、この研修のまとめとしました。参加者代表のあいさつは、A班が石塚小学校の會澤知里さんが、B班は沢山小学校の鷺野谷恵夢さんが行いました。

最後に子どもたちからリーダーの高校生に対して感謝のことばが述べられ、感激のあまり涙する姿も見られました。昼食の後、デッキに出て写真撮るなど、最後のふれあいの活動をしました。



午後2時15分 大洗港着

午後3時30分 常北公民館解散  
4泊5日の研修が終了しました。

ふれあいの船事業を通して、知らないもの同士が互いにふれあい、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。

また、引率者の高校生リーダーの成長も日に日に感じ取ることができ、非常に有意義であったと思います。

子どもたちの間には、この5日間の集団生活をお互いに助け合い、認め合い、感謝しあうという気持ち芽生え、解散式ではそれが深い感動となって表れました。5日間という短い期間で目に見える成長を得られた素晴らしい船の旅となりました。